

品質保証研究会 平成22年度活動報告

1. 活動状況

(1) 平成22年度の活動は、第20回通常総会で承認された活動計画に基づき展開し、所期の成果を収めることができた。

番号	項目	内容		回数
1	通常総会	第20回通常総会の開催		1回
2	品質保証研究会全体活動	会員相互間の啓発	講演会	2回
			見学会	2回
3	QASGニュースの発行	会員の活動状況や、品質保証に関する情報交換	第71号～73号	3回
4	定例研究会活動	グループ毎にテーマを定めての品質保証に関する調査・研究活動と会員への成果提供	第1グループ	3回
			第2グループ	6回
5	20周年記念事業	20年誌の編纂		1件

1. 2 平成22年度品質保証研究会の活動実績を表1に示す。

2. 活動要約

平成22年度の活動要約を表2に示す。

表1 品質保証研究会 平成22年度活動実績

○・▽：計画
▼：実績

項目	2010年(平成22年)							2011年(平成23年)						
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総会		第20回 6/2(水) ▼ 学生会館												第21回 ▼
	講演会				第37回 ○-----▽ (案内発送)	第37回 ○-----▽ (案内発送)	第38回 ○-----▽ (案内発送)							
全体活動	実績				9/19 ▼ 立教大 芳賀教授						3/2 ▼ 明治大 中西教授			
	計画			○-----▽ (案内発送)	第36回 ○-----▽ (案内発送)				○-----▽ (案内発送)	第37回 ○-----▽ (案内発送)				
見学会	実績						11/10 ▼ サンポート-白州蒸留所				3/9 ▼ 荏原製作所			
	計画													
QA SG ニュース	計画	○-----▽ (依頼)	○-----▽ (依頼)	○-----▽ (依頼)	○-----▽ (依頼)	○-----▽ (依頼)	72号 ○-----▽ (依頼)	○-----▽ (依頼)	○-----▽ (依頼)	73号 ○-----▽ (依頼)	○-----▽ (依頼)	○-----▽ (依頼)	74号 ○-----▽ (依頼)	
	実績													73号発行[5月] ▼
第1グループ	計画			▽ (幹事会)	▽ (研究会)	▽ (研究会)		▽ (研究会)		▽ (幹事会)			▽ (研究会)	
	実績							12/7 ▼ 幹事会		2/23 ▼ 幹事会		4/14 ▼ 幹事会		
第2グループ	計画			▽ (研究会)		▽ (研究会)			▽ (研究会)	▽ (幹事会)		▽ (研究会)		
	実績			7/16 ▼ (幹事会)	9/7 ▼ (第1回定例研究会・幹事会)			12/2 ▼ (幹事会)		2/4 ▼ (幹事会)			5/11 ▼ (幹事会)	
H. Pメン テナンス	計画													
	実績													適宜更新 ➔
幹事会	計画		第131回 ▽		第132回 ▽	第133回 ▽		第134回 ▽		第135回 ▽		第136回 ▽	第137回 ▽	
	実績		6/24 ▼		8/26 ▼	10/20 ▼		12/21 ▼	1/11 ▼			4/18 ▼	5/19 ▼	

表2 平成22年度 品質保証研究会 活動要約

番号	項目	日時・場所等	参加人員	内容
1	第20回 通常総会	平成22年6月2日(水) 学士会館 2階202号室	92名 (出席56名、委任状36名)	(1) 平成21年度活動報告・会計報告の承認 (2) 平成22年度活動計画・予算案の承認 (3) 会則改定及び役員選任の承認 特別講演 ・消費財メーカーの相談窓口活動 -花王ウェルに基づく消費者視点のよきモノづくり・企業活動改善- 花王(株) 部長 大島昌子 氏 ・専門性と「2.5人称の視点」 -業務、組織のストレッチを埋めるもの- ノンフィクション作家 柳田邦男 氏
2	講演会	第37回 講演会	40名	ヒューマンエラー研究の最近の動向 -心理学的アプローチを中心として- 立教大学現代心理学部 教授 芳賀繁 氏
		第38回 講演会	40名	高信頼性組織の実現 明治大学経営学部 教授 中西 晶 氏
3	見学会	第36回 見学会	12名	水を始めとする素材の質確保、顧客に受け入れられる商品作り等への取組み等について見聞を広めるべく、サントリー白州蒸留所を見学した。
		第37回 見学会	22名	大型ポンプ及び高圧ポンプなどを生産する最新鋭工場として、2010年1月より稼働を開始した荏原製作所富津工場、および東電工業溶接技術センターを見学した。
4	定例研究会	第1グループ(リーダー: 武田博文 会員)	(1) 研究テーマ 品質保証システム研究 (2) 研究の内容 [前年度成果の周知と品質保証研究会20年誌の作成] 海外品質保証規格の最新版 (ASME NQA-1 2008年版) と、国内QMS (ISO9001:2008年度版及び JEAG4121:2009年度版附属書-1) との比較検討結果を、研究員へ周知した。今年度の活動成果としては、20年誌のまとめとして、平成3年からの研究活動の総括及び成果資料の整理をすることとし、過去研究成果の概要、第1グループにおける今後の課題と展望等についてまとめた。	(1) 第1回研究幹事会 平成22年12月7日 ・平成21年度活動成果の報告 ・平成22年度活動に関するフィードバック ・20年誌構成検討 (目次作成と担当者割付) (2) 第2回研究幹事会 平成23年2月23日 ・20年誌 目次と執筆内容読み合わせ (3) 第3回研究幹事会 平成23年4月14日 ・20年誌 最終読み合わせ
		第2グループ(リーダー: 三角竜二 会員)	(1) 研究テーマ エラーマネジメントに関する調査研究 (2) 研究の内容 [20年誌の作成] 品質保証研究会第2グループとして、平成13年以降10年間調査、研究してきたエラーマネジメントについて、活動実績を纏めなおし、参考テキストとして実務者が活用できるよう作成した。主要な掲載事項は以下の通りである。 ・特別寄稿 (エラーマネジメントの課題を巡って) ・ヒューマンエラー分析手法の検討 ・組織事故・不祥事低減対策の検討 ・ヒューマンエラー・組織事故防止対策 ・特別寄稿 (根本原因分析の現状と課題)	(1) 第1回定例研究会 平成22年9月7日 ・平成21年度活動概要報告 ・安全を達成するため必要な個人及び組織能力のあり方の検討について ・共通要因分析について (2) 研究幹事会 第1回研究幹事会 平成22年7月16日 第2回研究幹事会 平成22年9月7日 第3回研究幹事会 平成22年12月2日 第4回研究幹事会 平成23年2月4日 第5回研究幹事会 平成23年5月11日
5	QASGニュースの発行	(1) 第71号 平成22年10月 (2) 第72号 平成22年12月 (3) 第73号 平成23年5月		(1) 第20回通常総会、特別講演会報告、平成22年度第1・2グループ活動計画、役員紹介等 (2) 第36回見学会報告、第37回講演会報告、定例研究会中間報告(第2グループ)等 (3) 第37回見学会報告、定例研究会中間報告(第1グループ)等
6	20周年記念事業 20年誌編纂	関係者への原稿作成依頼と回収、第1・2グループ活動状況のまとめ、当会活動実績に係る資料作成などを進めた。		
7	幹事会	上記諸活動の計画・推進または支援のため、必要な都度、幹事会を開催した。 (幹事会: 第131回~第137回計7回開催)		

品質保証研究会・平成22年度収支計算書

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

収入の部

単位:(円)

貸方科目	計	予算額
会費収入	940,000	950,000
講演会参加費収入	262,000	200,000
見学会参加費収入	73,000	80,000
その他収入	0	
利息収入	306	
収入計	1,275,306	1,230,000

支出の部

借方科目	計
会議費	462,754
印刷費	298,138
諸謝金	230,000
旅費交通費	54,190
通信運搬費	82,340
図書資料費	0
消耗品費	0
雑費	10,920
支出計	1,138,342
収支差額	136,964
合計	1,275,306

事業項目別支出内訳	支出額	予算額
総会関係	402,224	400,000
定例研究会	184,889	450,000
講演会 2回	225,770	200,000
見学会 2回	24,490	80,000
ホームページ	192,990	200,000
記念事業	107,979	700,000
合計	1,138,342	2,030,000

監事 矢作 隆 

監事 渡邊 邦道 

第1号議案－2－2

品質保証研究会・貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

単位 (円)

資産の部			負債の部		
勘定科目	金額	備考	勘定科目	金額	備考
流動資産			流動負債		
現金	4,613		未払金	0	
銀行口座	1,233,368				
郵便振替口座	270,450		流動負債合計	0	
流動資産合計	1,508,431		負債合計	0	
固定資産	0		正味財産の部		
			勘定科目	金額	備考
			繰越金		
			前期繰越金	1,371,467	
			当期収支差額	136,964	
固定資産合計	0		繰越金合計	1,508,431	次期繰越金
資産合計	1,508,431		正味財産合計	1,508,431	
合計	1,508,431		合計	1,508,431	

品質保証研究会 平成23年度活動計画

1. 活動方針

(1)基本方針

活動成果のなお一層の充実とその活用を図るため、以下の活動を実施する。

- ・全会員対象の講演会、見学会を計画し、会員相互の啓発を図る。
- ・定例研究会活動として、第1、第2の各グループのテーマに基づく、輪読、講義、購読、見学等の活動を推進すると共に、その活動成果を取り纏めて、会員の活用に供するように努める。
- ・会員間の情報交換、コミュニケーションの場の提供を図るため、QASG ニュースを発行すると共に、ホームページの有効活用を図る。
- ・20周年記念事業として、20年誌を配布する。

(2)東北地方太平洋沖地震の考慮について

当会会員の多くが、東日本大震災の復旧・復興対応、東京電力福島第一原子力発電所の原子力災害拡大防止のための応急措置および復旧対応などに関わっていることを考慮して活動する。今年度上期の講演会、見学会、研究活動は計画しないこととする。

以上の方針に基づき、平成23年度の具体的な推進計画を以下に示すと共に、全体の活動計画(補足)を表2に示す。

2. 活動計画内容

平成23年度活動計画の主要項目を以下に示す。

2. 1 総会

- ・第21回通常総会を開催する。
- ・総会終了後、20周年記念行事として制作した20年誌(品質保証研究会20年のあゆみ)のCD(コンパクトディスク)配布と内容紹介を行う。

2. 2 講演会の開催

下期(平成24年1月)講演会を予定する。

2. 3 見学会の開催

下期(平成24年2月)1回の見学会を予定する。

2. 4 「QASG ニュース」の発行

年度内(平成23年8月、平成24年2月、5月)3回のQASG ニュース発行を予定する。

2. 5 20周年記念事業

品質保証研究会の会員、および研究会の活動に貢献のあった先輩、関係者に20年誌(品質保証研究会20年のあゆみ)のCDを配布する。

2. 6 定例研究会活動

(1)第1グループ(リーダー:武田幹事)

- ・研究テーマ:品質システムの研究「実効的QMSの構築」
- ・研究の進め方:平成22年度研究の継続推進

海外規格(10CFR50 App.B、ASME NQA-1)の最新版の動向を調査し、国内ISO9000シリーズやJEAG4121:2009年度版附属書-1等に準じた品質マネジメントシステムとの比較検討を行ってきた。これまでの調査・検討をまとめ、実効的な調和のとれたQMSの構築について検討する。また、震災対応を振り返り、品質保証活動に関する存在意義等についても考える。

(2)第2グループ(リーダー:三角幹事)

- ・研究テーマ:エラーマネジメントに関する調査研究
- ・研究の進め方:安全を達成するための個人、組織及び仕組みのあり方の検討

これまで事故・トラブルを低減させるため、組織事故・不祥事の組織要因を分析し、さらに安全を達成するために必要な個人・組織の能力について調査・検討してきた。これまでの調査・検討を現段階で見直し、整理するとともに安全・安心のためのエラーマネジメントの仕組み、その理想的な姿について検討する。

また、東京電力福島第一原子力発電所での未曾有の原子力災害についても考える。

以上

○・▽：計画
▼：実績

表1 品質保証研究会 平成23年度活動計画

項目	2011年(平成23年)												2012年(平成24年)			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
総会		第21回 6/14(火) ▼											第22回 ▽			
	講演会							○--- (案内発送)	第39回 --▼							
全体活動	見学会								○--- (案内発送)	第38回 --▼						
	実績															
第1グループ	QA SG ニュース	73号 ▼ (発行)	○--- (依頼)	○--- (依頼)	74号 --▼ (発行)			○--- (依頼)	○--- (縮切)	75号 --▼ (発行)	○--- (依頼)	○--- (縮切)	76号 --▼ (発行)			
	実績															
第2グループ	計画					▽ (研究会)							▽ (研究会)			
	実績															
H.Pメン テナンス	計画															
	実績															
幹事会	計画	第137回 ▽	第138回 ▽		第139回 ▽		第140回 ▽		第141回 ▽		第142回 ▽		第143回 ▽			
	実績	5/19 ▼														

第2号議案－2

品質保証研究会・平成23年度収支予算案

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

単位 (円)

収入の部	金額		前年度予算額
会費収入	950,000		950,000
講演会参加費収入	100,000	1回分	200,000 2回分
見学会参加費収入	40,000	1回分	80,000 2回分
収入計	1,090,000		1,230,000
前期繰越金	1,508,431		
合計	2,598,431		

支出の部	金額		前年度予算額
総会関係	200,000		400,000
定例研究会	450,000		450,000
講演会	100,000	1回分	200,000 2回分
見学会	40,000	1回分	80,000 2回分
ホームページ	200,000		200,000
20周年記念事業	400,000		700,000
支出計	1,390,000		2,030,000
予備費	1,208,431		
合計	2,598,431		

第3号議案

品質保証研究会 会則の改定について

当会会則について、下記の改定を提案致します。

[提案理由]

本会の所在地を公益財団法人原子力安全研究協会 気付とすることになりました。
これに伴って、改定内容の通り会則を改定することを提案します。

[改定内容]

1. (所在地) 第2条を一部改定し、以下とする。

『本会の所在地は、〒105-0004 東京都港区新橋 5-18-7 (本館)
公益財団法人原子力安全研究協会 気付』

2. 付則

『本会則は、改定した日から施行し、平成23年6月1日から適用する。』

以 上

第4号議案

品質保証研究会 平成23～25年度 顧問選任

平成22年度で宅間顧問の任期が満了致しました。
平成23～25年度も引き続き顧問をお願いしたく、下記を提案致します。

[提案内容]

顧問；宅間 正夫 社団法人 日本原子力産業協会 顧問

以上